

※一般質問の質問内容及び答弁内容は要約してあります。

ジェネリック医薬品で 医療費の抑制を



問 厚生労働省が昨年の医療費の動向に関する調査結果を発表した。

医療保険と公費から支払われる概算医療費は過去最高の、32兆4千億円になっている。国民一人当たりの年間医療費は25万4千円、増え続ける国民医療費は2025年には69兆円にもなるといわれている。増大する医療費を軽減するために注目されているのが後発医薬品「ジェネリック医薬品」である。値段の安い後発医薬品を行政が医療機関に対して置き換える働きかけを行うとともに、住民に対して周知徹底に努めることにより、個人負担の軽減と保険給付費の抑制に繋がるのではないかと。

町長 ジェネリック医薬品は、「患者負担の軽減と医療費抑制」という観点から注目している。現在、国内に流通する医

療用医薬品のうち半数近くの種類がジェネリック医薬品だが、メーカーの多くは小規模で生産量も少なく、医療現場からは、「長期使用が必要な患者への供給に不安がある」「すべてのジェネリック医薬品を在庫することは不可能」などの意見が出ており、全ての医療機関で扱っているわけではない。

医療医薬品は、医師と患者が相談し、症状、体質、体調などに応じて処方するものであり、町から医療機関へジェネリック医薬品使用を働きかけることは難しいと考える。町民に対しては、選択肢の一つとして参考になるような情報を提供することについて検討したい。

札内地区の危険な生活道路の 改善と信号機の設置を

問 日常、何気なく利用している生活道路カーブが狭かったり、交差点が確認しにくいなど危険なところが見うけられる。

①札内中央町三叉路交差点の信号機について、右折信号の設置は出来ないものか。
②あかしや団地道路12号と日新線の交差点への信号設置について、事故が起きるたびに地域住民は時差式の信号機の必要性を訴えている。早急の設置が必要と考

③カーブの狭い泉町東南角を拡張することはできないものか、堤防に沿っての延長整備計画は。

町長 ①札内鉄道南沿線道の通行止めにより、迂回路として踏切より札内中央公園通を通り、春日方面へ向かう三叉路交差点の渋滞緩和と交通安全確保のために、北海道と公安委員会とが協議し設置した。協議の中で、信号機から踏切までの距離が短いことから、踏



仮設信号機の設置されている交差点

平成5年より毎年、帯広警察署を通じて、釧路方面公安委員会へ要望しているが実現には至っていない。当該交差点には、あかしや団地道路12号側に一時停止の規制があり、事故の大半は一時停止違反、左右確認が不十分であ

切遮断時を考慮し、多くの車の滞留を避けるためと聞いており、踏切方面に向かって車の流入が増える右折信号の設置は難しいと考ええる。なお、今回の迂回路規制は、札内鉄道南沿線道が開通する来年3月までの期間であり、地域の皆さんや通行される皆さんには不便をかけるが、ご理解とご協力をお願いしたい。

②信号機設置については、

③現在のところ整備計画はないが、今後、東側の土地利用計画が図られた時点で、鉄道南沿線通りへとつながる道路網として計画しなければならぬと考えている。